

マシンの速さが少し足りない我慢のレース展開のなか テクニックでカバーしシリーズランキングトップを堅守した十勝ラウンド

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup はGR GR86 Cup Car Basic と SUBARU BRZ Cup Car Basic を使ったワンメイクレースです。プロフェッショナルシリーズとクラブマンシリーズの2シリーズ制で行われており、プロフェッショナルシリーズには、国内トップドライバーが多く参加する、レベルの高いワンメイクレースとなっています。



Tx2 CABANA Racing 堤優威 ゼッケン1

堤優威がドライブする「Tx2 CABANA RACING CABANA BS GR86」は、2026年シリーズは第1戦オートポリス2位、第2戦スポーツランドSUGO2位、第3戦岡山3位と連続表彰台を獲得しており、シリーズランキングもトップに立っています。

第4戦は北海道の十勝スピードウェイです。年に1回開催のため普段走行する機会が無く、昨年のデータを活用しながらセットアップの方向性を探ります。十勝スピードウェイは全面的にフラットで高低差もほぼ無く、直線と直角に近いコーナーで繋いでいきます。コース幅はあるように見えますが意外と狭く追い抜きしにくいコースです。またコーナーの外側に飛び出さないように規制する、柔らかい素材のポールが設置されるなど、走る場所が制限されるのも十勝スピードウェイの特徴です。

チームは木曜からサーキット入りし走行を開始します。気温30°を超える暑さの中走行を繰り返し、金曜日の夕方に行われた占有走行では6位を記録して、まずまずの仕上がりを見せ予選に期待を持たせます。トップとの差は僅か0.377で、出走28台中19台が1秒以内というシビアな戦いを繰り広げています。

QUALIFY

公式予選【PRO】 2026年8月8日(土) 12:35 ~ 天候：晴れ 路面：ドライ

タイム 1'32.802 順位 4 位

真夏の日差しが照りつけるなか予選が12時過ぎから行われました。予選開始時間を睨んで、前日の練習走行も同時間帯で行いました。練習走行時も上位をキープしているため予選も期待が掛かります。予選時間は15分。堤はコースイン開始時間と同時にピットを離れコースに向かいます。今回はほとんどの車両が同じようなタイミングでコースインしタイムを出しに行きます。その中で堤は丁寧にタイヤを温め、しっかりと攻めた走りを行いますが、惜しくも4位となりました。4位であればもちろん表彰台の1角は狙えるポジションですので期待が持てます。



金曜日の占有走行では出走28台中19台が1秒以内の僅差での走りでしたが、予選では出走28台中26台が1秒以内というものすごいハイレベルな戦いが繰り広げられました。

RACE

決勝レース【PRO】 2026年8月9日（日）12:14～ 天候：晴れ 路面：ドライ

タイム：22'06.077 順位 4 位



昨日までの暑さはどこへ行ってしまったのかと思えるほど、22度という北海道らしい涼しい気温になった決勝日。土曜日の夕方から大雨が降り、路面は綺麗に洗い流されています。また直前に行われたクラブマンシリーズのレースでは霧雨が落ちてくる天候でしたが、プロフェッショナルクラスが始まる頃には天候も回復してドライ路面でレースが行われます。十勝スピードウェイは全長3,405mとコース長が短いため、14周でレースが行われます。

スタート直後、堤の前の2番グリッドからスタートした蒲生選手がトップを奪取。その流れに付いていきたいところでしたが、3番グリッドからスタートした佐々木選手の巧みなポジション取りにより4位のままで周回に入ります。その後も佐々木選手の絶妙なポジション取りにより前方を伺うこともできないままレースを進めます。後方から迫る高橋選手を堤はうまく押さえ込み、堤はスタートと同じ順位を堅守。膠着状態のまま周回が過ぎていきます。残念ながら前方の選手を追い抜くほどのマシンの速さは無く、そのまま4位で14週のレースを終えました。

連続表彰台の記録は途絶えてしまいましたが、4位10ポイントを獲得。第3戦までの42ポイントに10ポイントを上積みし52ポイントとなり、シリーズランキングはトップを堅守しています。今大会で優勝した蒲生選手が41ポイント、2位の近藤選手が35ポイントと迫ってきています。またランキングを競っている菅波選手は今大会ポイント圏外になったため33ポイントのままですが、堤選手以下のライバル勢が僅差で追い上げているため、今回の4位10ポイントはシリーズを考える上では非常に重要な結果になると思われます。次戦は富士スピードウェイで9月5日（土）～6日（日）に開催されます。今回の課題を克服してチャレンジャーの気持ちで挑んでいきます。



COMMENTS

チームスタッフ&ドライバー

T×2 CABANARacing チーム監督

安藤 宏



金曜・土曜は北海道らしからぬ厳しい暑さの中での占有走行と予選となりましたが、決勝の日曜日は一転過ごしやすい涼しいコンディションでレースを戦いました。スタートでのポジション変動は無く、前を走る佐々木選手の隙を伺う展開でしたが、追い抜くほどの速さは無い状態でした。上位2台のから大きく離れた3位争いのポジションのまま4位でのゴールとなりました。今シーズンの連続表彰台は逃してしまいましたが、上位入賞を果たしてランキング首位を死守することができました。シリーズ後半戦も守りのレースをするのではなく、車の調子を改善し、戦略面でも堤選手とチームスタッフと共に粘り強くベストを尽くして戦いたいと思います。ファンの皆様、サポートしていただいているサプライヤーや、ご支援いただいている皆様に多大な感謝を申し上げます。

ドライバー #1 CABANA BS GR86

堤 優威



今週の走り始めから車の調子が本調子ではありませんでした。その中でいろいろセットアップなどを考えて走行を行っていました。金曜日に行われた占有走行では6位となっており、予選でトップ10に入れば良いかなと思っていました。そんななかで予選は4位を獲得できたのは良かったです。決勝では前の選手を抜ける速さは無かったです。4位で終わることができたのはランキング争いを考えても良いことなのですが、満足できる結果では無いので、次戦の富士に向けて改善をして臨みたいと思います。シリーズランキングもトップにいますので、残り3戦も取りこぼすことのないようにしていきたいと思います。

T×2 CABANARacing チーフエンジニア

山崎 登



十勝スピードウェイにきて走り出しから上位ではあるけどトップまでは少し届かないということが確認できました。その中で、なかなか来ることができない十勝で様々なセットアップを試すことができましたので、データ収集という意味では良かったです。予選・決勝も少し車両の速さが足りていませんでした。それでも予選で4位。決勝もポジションキープの走りを上手にしてくれたことで現状維持をキープできました。トップからスタートした近藤選手が2位。2位からスタートした蒲生選手がトップとなったことでポイントランキングも平均化された中、堤はトップを堅守できています。ライバルが追い上げて来ていますので、追いつかれないようにしていきたいです。

BRIDGESTONE BRIDE EXEDY Speedhack Store Newf Automobile Accessory TO MEI GROUP CABANA Child.co.,Ltd
POTENZA HYPER WATER. INGING MOTORSPORT. OXREX United Sound. 焼肉 上田屋 株式会社 堀 佐 繁乃 鑑

GR Toyota Racing GR86/BRZ Cup

T2 CABANA RACING